

ICTで 家庭学習 をDX!

学年 中学校複数学年 教科 家庭学習 など

資源の無駄を減らし、学習の多様性を増す

使用するアプリケーション等

- Microsoft Teams
- Microsoft Forms
- Microsoft Excel

単元・題材 知識定着のための家庭学習

DXのねらい 印刷の手間を減らし、よりたくさんの問題を生徒に提供する

ICTを活用することで できること

- Microsoft Teamsを使えば、膨大な量の問題を全校生徒に配布することができる。
- Excelの機能を活用すれば、固定された問題だけでなくランダムに数字が変わったり出題されるものが変わったりすることができる。
- 印刷の手間や資源を大幅に減らすことができる。
- 時間がたってもデータが残っている限りは繰り返し取り組むことができる。
- たくさんやりたい生徒やそうでない生徒も自分で量を調整することができる。
- 家庭学習で「何をやったら良いかわからない」という生徒に対して、選択肢を広く提供することができる。

DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

1 印刷枚数

- ① プリントの課題を出すときには、原本を人数分印刷する。
 - ※ 家庭学習ノートに貼れる大きさで配布するならB5サイズ
 - ※ 通常印刷できる最大がA3サイズ
 - ※ 漢字100個の書き取りを出題しようとするA3用紙2枚分ほどが必要

- ② 複数種類の範囲を出題するときは、多くの場合で複数枚数の印刷が必要となる。
例) 正負の計算、文字式、方程式

2 内容偏重

- ① 印刷プリントの場合、出題順番が固定されることも多い。
 - ※ 増刷する機会が多いため、小テスト形式のものも、毎回同じ問題
 - ※ 同じ問題に対して張り合いがなく、意欲がわかない生徒も

3 集団学習

- ① 全員に対して同じ量の課題提示
 - ※ 「もっとやりたい」と感じる生徒がいたとしてもプリントの数には限りがある
 - もしそれを改善しようとして、あらかじめ追加プリントを印刷しておいたとすると使わなかったときに処分されることとなる



DX後 (赤字はICT活用場面)

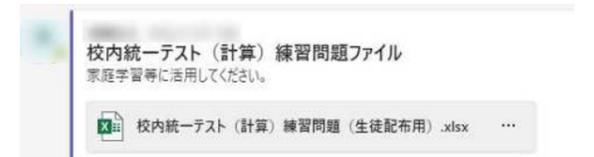
ここを変える(数字)が変わります、それに応じてランダムに出題問題も変わります。まったく同じ問題が出ることも稀なため、自分勝手に変えてOKです。他人は変えず、自分の使いたいように変更しましょう。一題上の()は一問の問題番号です。

「練習ドリル」を挿入する場合、ここで10問を指定してください。

「定期試験作成」を送った場合、ここに一覧の問題番号を入力してください。※右から順番に反映されます。

1 印刷なし

- ① Microsoft Teamsにアップするだけで印刷なし
 - ※ 生徒はデータを見ながら家庭学習
 - ノートに問題や答えを記入



2 内容の多様化

- ① Microsoft Excelのシートを多様化するだけで、複数のタイプの問題に取り組むことができる。

問題原本	ランダム作成	問題作成	練習シート	小テスト形式	100問	家庭学習	予想問題	本番	読み
正負の計算	分数・指数	文字式	方程式	小テスト	総合問題	特訓①			
- ② Microsoft Formsのクイズ機能を活用し、全教科のさまざまな問題に触れることができる。
 - ※ 社会…写真やイラストを用いての都道府県問題など
 - ※ その他にも、選択式や記述式、動画、音声、PDFなどいろいろな可能性を秘めている

3 個別最適の学びへ

- ① Microsoft Excelの問題はボタン一つで問題が変わる仕様のため、苦手なものは繰り返しできる。
 - ※ どの問題にどのくらい取り組むのかを生徒に決めさせる

授業者から (成果・課題・留意点)

- 課題を準備する際の印刷の手間が減ったことで、時間にも余裕が生まれ、心身への負担も軽減された。
- 模範解答もデータの中に含まれているので、別で印刷する必要もなく、生徒もすぐに答え合わせをすることができる。
- 問題を作成することが一番大変なところではあるが、作成を分担することで一人当たりの負担は減らすことができる。
- データで作りにくい問題もあるので、現段階では印刷物との併用となっている。